

# 〈〈〈令和元年度「京都林業のつどい」を開催しました〉〉〉

令和元年度「京都林業のつどい」を令和2年2月27日（木）にルビノ京都堀川において開催し、府内の森林・林業、木材関係者120名が参加しました。

今回は『育林、伐採、流通等の低コスト化による森林資源の有効利用』をテーマに掲げ、第一線で活躍中の経営者を招いて講演していただき森林資源の循環利用の実現に向けて理解を深めました。

また、新たに認定された京都府指導林家6名と青年林業士1名への認定証の交付も併せて行いました。



講演会での質疑応答

## ■『林業の課題へのアプローチ 2020』

講師：株式会社アメリカ屋（福島県郡山市）  
専務取締役 鈴木 優作 氏

伐開工事、トラック収集運搬業、木材リサイクル等、バイオマス発電施設向け燃料チップの生産などを手がけ、林業・木材産業の各部門を自社で連携させている。



鈴木 優作 氏

また、森林経営計画も策定し山林経営から木材利用までの作業フローの改善等を行うとともに、林業機械の選定や作業ウェア、更衣室の充実など社員の労働環境の改善による人材確保についても紹介していただきました。

## ■『持続可能な「あたりまえ」～木を伐らない林業～』

講師：株式会社 中川（和歌山県田辺市）  
創業者兼従業員 中川 雅也 氏

伐採作業は行わず、植栽、獣害防止設備設置、下刈、など育林作業を中心に山林管理や補助金の申請代行、作業道設計などを手がけ、林業事業体と協業しながら常識にとらわれない林業に挑戦している。

「持続可能な従業員にとって働きやすい環境を作る」



中川 雅也 氏

との思いを大切にし、給与は日当制、副業も可能で働きたい日に出勤できる自由な就業体系が新規参入者や移住者の定着につながり、創業以来の離職者ゼロを誇っている。

林業における雇用のあり方について考えさせられる講演でした。

## ■『私の家づくりと林業再生の先導的ビジネスモデルについて～価値共感共創網の構築～』

講師：伊佐ホームズ株式会社（東京都世田谷区）

代表取締役社長 伊佐 裕 氏

設計部主任 小柳 雄平氏



伊佐 裕 氏(左)と小柳 雄平 氏(右)

「<sup>ゆうずうむげ</sup>融通無碍なる現代の日本の家づくり」を根本かつ最大のテーマに据えて、山林経営から住宅建設までの部門をコーディネートして山村と都会を結ぶプラットフォームを構築することによって、産地や強度など木材情報をクラウド上で共有して木材のトレーサビリティを実現する先導的なビジネスモデル『価値共感共創網』を展開している。

また、この国における森林と人との関わり方について、森林文化論の視点からあるべき姿を示していただきました。

今回の講演者に共通していたのは、広い視野で現状を分析し、的確に課題を抽出して努力と工夫によって果敢に解決に向けて取り組んでおられる姿でした。

また、人材の確保と育成についても、給与面だけでなく自由な就業体系、快適な労働環境、格好いいユニフォーム、ドローンの活用による労働負荷の軽減など従業員の働きやすさを追求されていることが印象的で、考えさせられる内容の多い有意義な講演会でした。

(森林技術センター 今井 正憲 林業革新支援専門員)